

フランスでの電気契約(4)電力会社を選ぶポイント！ガスについても



はじめに

前回、フランスにはたくさんの電力会社があり、中でもEDFが未だにシェア 1 位であることもお話ししました。今回は

**電気料金プランを選ぶテクニック
と電力会社を変えるメリット**

をご紹介します。また、フランスの電力事業やガス会社についても触れていきますので参考にしてくださいね。

どうやって電力会社を選ぶ？

フランスで電力会社を選ぶ際のテクニックと方法をご紹介します。

料金で選ぶ

多くの人にとって、**料金は一番重要なポイント**でしょう。

電気料金も、もちろん料金で選べます。インターネットや携帯などもそうですが、新しい電力会社のほとんどが、独占企業であったEDFよりも安い料金プランを提供しています。さらに、EDFも含めすべての電力会社がガスの販売も行っています。中には、電気とガスのセットでさらに安い料金を提供している会社もあります。

料金は各電力会社のホームページで確認できますが、全サイトを比較するのは面倒です。フランスにも**電気料金の比較サイト**がいくつかありますので、料金チェックをしてみるといいでしょう。

会社のポリシーで選ぶ

前回ご紹介したように、フランスには再生可能エネルギーに力を入れて電気を販売している会社があります。Planète OUIなどがその一例です。また、再エネに特化していなくても、**再エネ電気料金プラン**を用意している会社もあります。エコ派の方は、そのような会社のポリシーに賛同して電気を選

ぶのも1つの方法です。

新電力として最大手のdirect energie (ディレクトエナジー)

は、ツールドフランスでチームディレクトエナジーのメインスポンサーもしています。このチームは、日本人の新城選手が所属していた事でも有名な強豪です。(当時はブイグ)そんな理由から選ぶのもおもしろいですね。

会社の知名度で選ぶ

電気代は安く抑えたいけれど、「やはり大手の方がなんとなく安心。大家さんと同じ電気・ガスの契約をしておいた方が分かりやすいような気がする。」という理由で電力会社・ガス会社を選ぶのもありでしょう。知名度を優先するな

ら、電気はEDF

などの”超正当派”で契約する人が多いでしょう。もしくは周りの人にリサーチをし、同じ電気小売り会社・ガス会社の契約をすることも可能ですね。

電力会社を変えるメリット・デメリット



ところで、電力会社を選ぶメリットとはなんですか？まずは

電気料金が今より安くなる！

ということです。大抵の新しい電力会社は「EDFより何パーセント安い」という形で料金を発表しています。ですから、そのようなプランを選んだ場合は確実にEDFよりも電気料金は安くなります。フランスではIHヒーターのキッチンが多く、そのように電気使用量が多い場合は安くなる値も大きくなります。

新しい電力会社はサービスが充実

また、新しい電力会社の場合は
カスタマーサービスに力を入れていることが多い

です。英語対応できるオペレーターも多いようです。フランスのサービスの悪さは皆さんご存知の通りですので、少しでも対応の良い会社は安心しますよね。「フランス語よりは英語の方がまだ少し得意」というフランス語ビギナーも**英語で問い合わせができて便利**ですね。

こんな

うまい話しば

かりで何か落とし穴はない

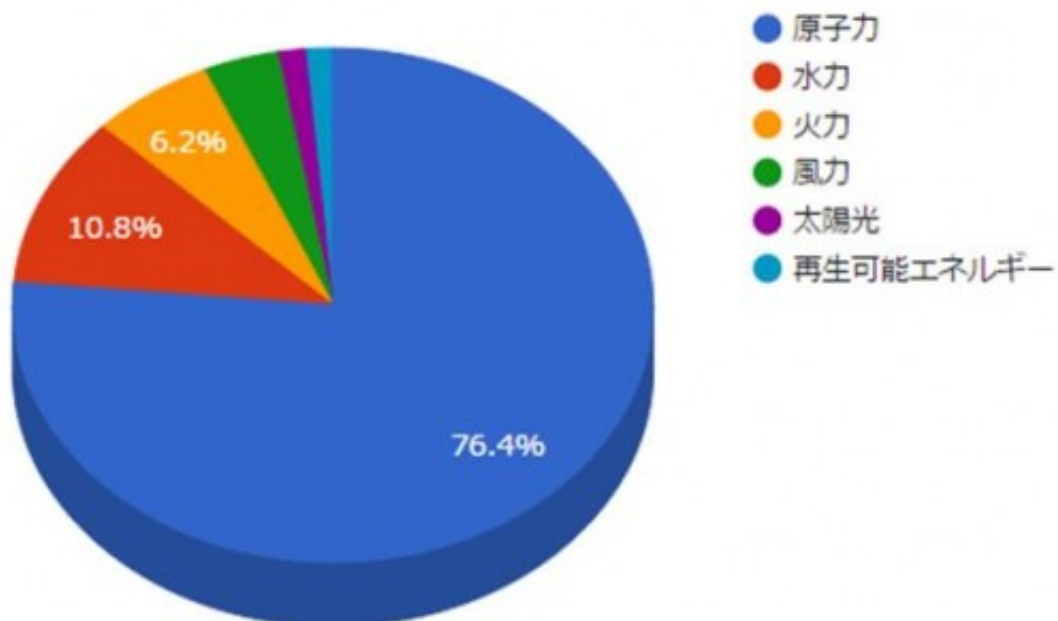
の？と思われるかもしれませんが、強いて**デメリット**をあげるならば、

「面倒くさい」

でしょうか。すでにEDFなどで契約をしている場合は、料金が安くなると分かっているにもかかわらず、わざわざ切り替えるのは面倒くさいと感じるでしょう。新しいアパートに引っ越す、誰かと一緒に住むことになった時などに検討してみるといいかもしれません。

本当にフランスは原発大国なの？

フランス電源構成（2015年）



フランス語学んでいる方はもちろん、フランス語を学んでいない人でもフランスは原発大国らしい・・・というのは聞いたことがあるのではないのでしょうか。フランスの発電の割合を紹介しましょう。上のグラフをご覧の通り、**原子力発電の割合は約8割近く**に上ります。かなり高いですね。次に多いのが水力発電です。アルプスやピレネーなどの山地を活用しての水力発電がフランスでは盛んです。

フランスが原発大国というのは間違いありませんが、原子力と水力発電のおかげでCO₂の排出が少ないというアドバンテージもあります。さらに、原子力の割合が高い事でフランスは欧州の中でも**電気料金が安い国の1つ**となっています。

ガスの使用開始の方法

今まで電気を中心に説明しましたが、ガスの使用開始方法も紹介します。ガスの使用開始は電気とほとんど同じです。ガス会社（fournisseur）に連絡をし、ガスの契約を結びます。後に、ガスのメーターを開けてもらいます。すでに止められている場合は技術者を呼ぶ必要があり、**10日ほど余裕を見なければなりません**。技術者は電気同様、ガス会社とは別のGRDF（Le Gestionnaire du Réseau de Distribution de Gaz）からガスメーターのチェックを行いに来ます。

ガス使用開始の初期費用は？

	Electricité non coupée	Electricité coupée; mise en service sous 5 jours ouvrés	Electricité coupée; mise en service sous 24/48H (délai express)	Electricité coupée; mise en service le jour même (délai d'urgence)
Prix de l'ouverture du compteur (mise en service)	26,23 € TTC	26,23 € TTC	36,90 € TTC	127,62 € TTC

Tarifs à jour de l'évolution du catalogue des prestations d'ERDF le 01/01/2014.

ガスが止められていても、すぐに使える状態であっても

ガス開始の初期費用として最低18.06ユーロはかかります

。その他、緊急度に応じて手数料は異なります。また、ガス使用開始には電気同様に住所、電話番号、銀行のRIB、そしてPCE(Le Point de Comptage et d'Estimation)というあなたのガスメーターを特定する番号が必要です。この番号はすでにガスを契約している場合には請求書に記載があります。そうでなければ、各ガス会社があなたの住所などから探してくれます。その際、以前住んでいた人の名前が分かると便利です。フランスでは大抵大家さんが把握していますので、事前に聞いておくといいでしょう。

ところで、電気のEDFのように、フランスのガスを一手に請け負っていたのはEngie (エンジー) 社

です。(独占企業だった時の名前はGDF: フランスガス公社)しかし、ガス会社も電気同様に色々

電気とガスの両方の契約を完了することも可能です。

最後に

フランスでの電気の契約について、4回に渡ってご紹介してきました。転居時のライフラインの手続きは、日本であってもフランスであっても重要なことです。フランスの電力事情などを踏まえ、各電力会社がどのような料金プランを提示しているのかを見直してみるいい機会かもしれませんね。

情報提供：電気・ガス料金比較：セレクトラ・ジャパン (<http://selectra.jp/>)

オンラインフランス語学校
ENSEMBLE EN FRANÇAIS
アンサンブルアンフランセ

オンラインフランス語学校アンサンブルアンフランセは、プロの講師によるマンツーマンのスカイプレッスンが1回1500円～受講できます。いつでもどこでも手軽に受講できる利便性と生徒一人一人にカスタマイズされた質の高いレッスンが好評です。

